



K-I-F-A Plaza

第7号

1990年9月15日発行
〈発行〉

鎌ヶ谷市国際交流協会

編集・広報部会

活動 報告

海外派遣事業 レイクポート市ホームステイ

特別企画	Internationalで行こう⑤ その1	2・3面
写真特集	見て！聞いて！体験して！	4・5面
活動報告	部会ズーム・アップ。会員登場	6面
参 加	学生会員アンケート Part 1	7面
あReこRe	通訳ボランティア研修会。ほか	8面

花のようになきれいね

しました。手に持つ花火は珍らしがられ、なかでも一番人気は「シユルシユルパーン」のねずみ花火だったとか。

(ホームステイ先の庭で、ホストマザーのキャシーさんと)



レイクポート派遣者の一人石川素子さんは鎌ヶ谷から花火セットを持参

特別企画

Internationalで行こう！

⑤ 今、鎌ヶ谷の国際交流は その1

今回はKIFA発足以来、会長、部会長としてご活躍の佐々木（会長）、荒井（派遣部会長）、岡本（研修部会長）、藤谷（交流部会長）の各氏に集まっていただいて協会の現況、姉妹都市、将来の展望などについて話していただきました。

（司会 広報部会 足立）

司会 発足して2年4か月、この間のKIFAの歩みを、市民レベルの国際交流の現況としてどのようにお考えになるか。まず会長からお話しいただけますか。

——市民への浸透度は、いまひとつ

佐々木 正直に言って、市民レベルではまだ十分に根付いていないでしょうね。一般の人に対する浸透度が、いまひとつ足りない。KIFA自体のPRが足りないのかな。



この2年4か月の間に、会員である私達は、今まで鎌ヶ谷でやったことのない事業を次々と行ってきた。その点でKIFAの会員は大いに成長したと思う。だが、会員以外の市民の関心はまだまだという現況では。

荒井 会長の言われたことに、全く同感です。しかしKIFAを組織して間がないのだから、仕方のない面もある。10年、20年たって定着していけばいろいろなジャンルの人が入ってくる。組織を強固にしていくにはそれぞれの分野で、みんなが頑張らねば。

岡本 発足時からみて、こうじゃなかったんではという点がいくつかある。

私達の知らないところで交流している方が市内にはずい分いらっしゃる。その方々に「KIFAをご存知ですか」と尋ねてみると「知らない」とおっしゃる。今、点として存在しているこれらの人々の交流を、つなぎ合わせて線や面にしていく必要があるのでは。

藤谷 その通りだと思います。留学とか海外生活とかで、日本へ帰ってから活動している人達が鎌ヶ谷にも、ずい分います。一緒になってKIFAに参加してもらいたいですね。

司会 藤谷さんの交流部会では、昨年のホームステイがきっかけで、外国の家庭との交流が始まったという会員があるとか。

藤谷 そうなんです。去年2回やったホームステイが縁となって、今まで外国の人との交流のなかった、ふつうの家庭の会員の方が、そのあと手紙をやりとりするとか、この夏休みを利用して先方へホームステイに行くとか、そういう交流がいくつか芽ばえてきて、とても良かったと思っています。

一同 いい話だね。こんな事例もあるんだと大いにPRして、市民の方に関心を持ってもらわなくては。

司会 ところで荒井さん。今、岡本さんや藤谷さんのおっしゃった「会員以外の個々の国際交流を、ぜひKIFAに結集したい」ということを、地元が一番くわしい部会長として、どうお考えになりますか。

——自然体でいってみたい

荒井 私はこう考えるんですよ。国際化の時代ですから、それぞれの家庭でプライベートな外国人とのつながりがあるのは当然だと思うのです。

その中にあって、ひとつの体系を作って、トータル的に運営していくのがKIFAだと思うのですが、残念ながら発足の時はそうではなかった。このために個々の家庭の交流を吸収できないのではないかな。

けれども、国際交流の基本は個々の市民の日本人としての生き方だと思うのです。一人ひとりが日本人として立派に生きて、隣近所の人と協調して生活する。その延長に外国の人との協調があるので、それで個々の国際交流が実現すれば、いいのではないだろうか。

KIFAだ、KIFAだと、すべてを協会に吸収しなくても、時間がかかるけど、市民が認めれば自然に協会に集ってくる。そういう自然体でいってみたい。

岡本 私の最初の発言で「発足時、こうじゃなかったんでは」と申しあげたのが、今、荒井さんのおっしゃったことなんです。

当初はKIFAの動きの中で納得のいかない部分が、かなりあったのですが、お互い意見を交換し合っていく中で、少しは前進したのではないかなと思うんですよ。

司会 藤谷さんは生活協同組合という分野でも大変ご活躍なんで、生協運動を通じての国際交流の実態はどうですか。

藤谷 そうですね。こういうご時勢ですから、外国人の組合員さんが結構いるんですよ。鎌ヶ谷では少ないですけど、浦安とか習志野では多いですよ。日本人とか外国人とかの区別なく協同組合の活動の中に溶け込んでいます。

とくに外国の方は自然保護とか地球環境に関心が深く、



その点でも日本人とわけへだてなく、同じ考えに結集しています。

司会 ある意味では生協運動の中で、理想的な国際交流ができていますと……。

藤谷 そうなんです。生協では同じ材料の食事をしていきますから、日本流に言えば「同じ釜のメシを食べている」わけで、すばらしい交流ですよ。



司会 会長は工業会のとりまとめもなさっていて、その方で外国の人とのかかわりが多いと思いますが。

佐々木 工業会としては、やはり外国人就労者の問題でしょうね。現実に市内でも、ある程度の外国人が働いているわけです。

まず、彼等が極めてまじめで、一生けん命に働いていることです。それはもう日本人以上の勤勉さです。そして、ただよく働くというだけでなく日本の習慣に溶け込もうという努力をしていることです。

たとえば給料をあげてやると、ネクタイ1本でもプレゼントしてくれるとか、そういう優しさも持っています。

人手不足の中小企業にとって、彼等なしでは経営が続けられないのは確かなことです。この人達に理解を深め、われわれのサイドから近付いていくことが大切ではないかと思います。

——きれいごとだけでなく、こわい面も

藤谷 外国人労働者のことは、これからの大きな問題でしょうね。もちろん、あの人達の立場を理解してあげて、力を貸してあげようとは思いますが、その反面には少しこわいところもあるんですよ。



ある国の人を少し面倒みてあげたことがあるのですが、その人が本国へ帰ったあと、どういうわけか、その国出身の労働者から次々と電話がかかるんですね。

まあ、その意味では私も「カマガヤのお母さん」になってもいいかなと思ったりもしたんですが、「ワタシ、オクサン クニニオイテキマシタ。ガールフレンド ホシイデス」といった電話もくるんです。

ですから国際交流の中には、きれいなことだけでなくどろどろした面や、こわい面もあることを知っておく必要があるのでは。

——欲しい、見極める力

岡本 私も同じ思いをしたことがあるんですよ。英語圏の人なんですけど、ことばが分かるということで私の電話番号を誰かから聞いたらしいのね。

最初は鎌ヶ谷で中古車の商売をやりたいという仕事の

話できたわけ。そのうち、だんだんおかしくなって、電話のかけ方で分かるんです。夜、しょっちゅうかかってくるので、ある時から主人を出すようにしたんです。そしたら、ぷつぷりかかってこなくなった。

国際交流といっても、そういうことを見極める何かを持っていないと、手痛い目にあうことがある。できることなら、そんな目にあいたくないですから。

一同 それは確かに言えますね。

岡本 それで、私はその方に提案したんですよ。鎌ヶ谷にはKIFAという組織があるんですよ。ひとつ外国の方たちでまとまって、日本語を勉強するとかいったことをなさったらと。

そうしたら、「ぼくはビジネスにきたのだから、何も日本語を習う必要はない」といばっているのね。

藤谷ほんとにそう。自分のことを、割りとよくいうのよねえ。

岡本 草の根の交流となると、やはり私たちは外国から来た人、その個人のバックグラウンドまでチェックしたくなる。そういうことまで、せん索するのは大変いやなことですけど。

——いい人もいれば、悪い人もいる

司会 今のお二人の話。荒井さん、男の目から見てどうお考えになりますか。

荒井 男の目からと言われても困るので、それは一応外して考えましょう。この場合、国際交流ということばを使うのが、正しいかどうか。あるいは意味があるかどうか。つきあう相手は、みんな人間でしょう。



ヨーロッパ人に対するもの、アメリカ人に対するもの、また発展途上国の人に対するもの。外国人といっても日本人が持つ考え方が、みんな違うわけです。

基本的に、その国の文化や生活習慣を初歩の段階で知っていれば、あとは人間と人間の交流ではないですか。日本人だって、いい人もいれば、悪い人もいる。それを外国人という色めがねを通し、ある先入観で見てしまうとおかしくなるのでは。

司会 まあ、国際交流といっても、さまざまな面を持っていると思うんですね。

今まで「市民レベルの国際交流としての現況」を中心に話していただきましたが、時間の関係もありますので次の議題に移りたいと思います。

この座談会は、「その1」「その2」に分けて掲載いたします。次号(12月15日発行予定)では「その2」として「姉妹都市について」「KIFA事業の将来展望」を議題としたものになります。ご期待ください。

見て！ 聞いて！

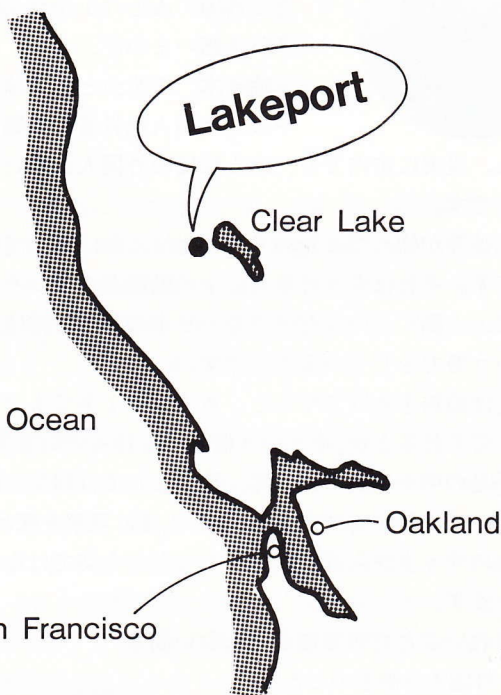
● レイクポートだより



▲レイクポートミュージアムで見学の記念水晶をもらって喜ぶ一同



◀ 固い握手！ ジョン・ダイ市長（左）と佐藤 肇リーダー



7月25日から5月11日までカリフォルニア州レイクポート市でホームステイと語学研修を行った皆さんが元気で帰ってきました。今回の写真特集にその報告をかねて、派遣者の皆さんが現地で写したものを特集します。

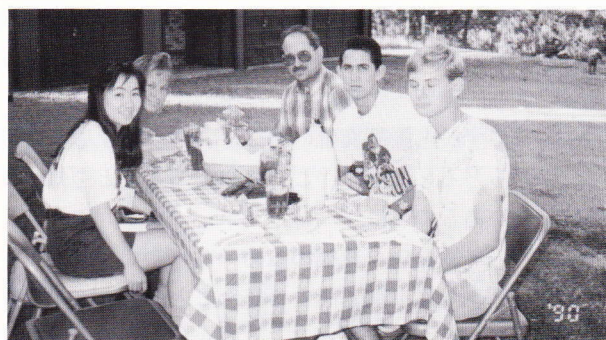
派遣者名

佐藤 肇(リーダー) 三野彰久 平柄早苗 吉野雅美
石川素子 廣原友紀 竹内朋子 橋都由香

日	付	
7月25日	成	
7月26日	英	
7月27日	英	
7月28日	名	
7月29日	名	
7月30日	英	
7月31日	W	
8月1日	英	
8月2日	英	



◀ いとこ達全員集合。私たちのホストマザーはなんと姉妹でした。(平柄 早苗・廣原 友紀)



▲ホストファミリーのウィーバーさん一家と
(橋都 由香)

いて！ 体験して！



現地のガールスカウトとの交流会(ハイランドスプリング湖で)

日 程	日 付	日 程
田発～レイクポート 各家庭へ	8月3日	英語研修 金鉱見学
語研修 市長表敬訪問	8月4日	各家庭にて自由行動
語研修 消防署見学	8月5日	各家庭にて自由行動
家庭にて自由行動	8月6日	クリアレイク州立公園ハイキング
家庭にて自由行動	8月7日	英語研修 Farewell Party
語研修 農家・果物取引所見学	8月8日	レイクポート発サンフランシスコ市内観光
NDSONOR WATER WORKSにて遊ぶ	8月9日	サンフランシスコにて自由行動
語研修 ガールスカウトとの交流会	8月10日	サンフランシスコ発
研修 MENDOCINO JUNIOR COLLEGE 訪問	8月11日	成田着



◀ホストファミリーの家族全員と

(吉野 雅美)

▶裁判所で。ふつうは公開しないところを、特別に見学を許された。



◀ウオーターワークスにてホストファミリーの Jamie ちゃん(6才)に日本語で「セッセッセ」を教えました。(竹内 明子)

▶署長さんを真中にレイクポートの消防署で。高層ビルはまだ無いのに、長く伸びるハシゴ車がすてにあるという用意(設備)の良さに感心。



海外派遣事業を支える人々

派遣部会

今回の部会ズーム・アップは、写真特集でお伝えしている、ホームステイの派遣事業を実現させた、派遣部会の皆さんに焦点を当ててみました。

この事業のため、3月早々に、派遣先、人数、予算等の素案作成に入りました。4月21日のKIFA総会で事業の承認を受けると本格的な活動に入り、5月に参加者の募集をしました。



希望と不安と。さあ出発！（市役所前で）

今回の応募者は12名でした。

6月の選考委員会で5時間半かけて面接と検討をし、7名の派遣者を選びました。以後3回の研修会をひらき、そのつど派

遣者のほか、荒井部会長をはじめ、ほとんど全部員が出席しました。日時と内容は次のとおりです。

- 第1回 6/16 ガイダンス（滞在地、旅程、ホームステイ）
- 第2回 6/24 英語研修、アトラクション（太鼓、盆踊り）
- 第3回 7/21 旅行書類チェック、消防署見学、梨園見学

7月21日には結団式がおこなわれ、交流協会の幹部や派遣部会員のほか市の関係者も出席しました。7月25日に家族や部会員に見送られ、成田国際空港を発ちました。派遣者の帰国後も、派遣者報告会など、忙しい日々が続くことでしょう。本当にご苦労さま！

会員登場・藤本克代さん

語学研修にかける情熱



今回は研修部会で大活躍の藤本克代さん（馬込沢7丁目）を訪ねた。

「私を国際交流にかりたてる源（みなもと）って何だろう」と最初の質問に首をかしげる。

藤本さんは3年前から本格的に英会話を始めたという。丁度、下の子供さんが中学に入った時で「ひょっとして、この家で一番時代遅れになるのは自分じゃないか」と不安になったのが、きっかけらしい。

最初の英会話の先生はイギリス人。若いけど、いろん

なことを知っていた。自分の国についてもくわしくて、もう歴史がしみついていてという感じの人間。その時、自分は日本に生まれて日本をどれだけ知っているかと反省、それが国際交流に身を入れる原因のひとつだという。そのほか、ご主人のお仕事の相手が外国人だということも無関係ではなさそうだ。

KIFAでの研修活動はどうであろうか。

最初の英会話講座を受けたが、あっという間に終わって物足りない。そこで有志の方と相談して、お金を出し合い自主的な勉強グループを作ってみた。KIFAで教えていたジョンに講師をお願いして続けていたが、彼が3月でアメリカへ行ったので、今はポールというイギリス人に教わっている。

その英会話グループにラピス（Lapis）という名を付けたという。磨けば光る、素晴らしい宝石に由来する。

今回、姉妹都市調査プロジェクトチームの一員に選ばれた藤本さんの、ますますのご活躍を祈ると共に、ラピスのように光り輝く仕事を期待したい。

市内の金融機関もKIFAの事業に協力しています



三和銀行

船橋支店 鎌ヶ谷特別出張所

鎌ヶ谷市富岡 1-9-25
☎0474(43)7121



京葉銀行

鎌ヶ谷支店

鎌ヶ谷市鎌ヶ谷 1-5-36
☎0474(43)3411



千葉銀行

鎌ヶ谷支店

鎌ヶ谷市富岡 2-1-1
☎0474(44)2111

聞いて!

学生のいいぶん Part 1

～学生会員アンケート集計結果報告～

先日、学生会員の皆さんにお送りしましたアンケートの集計ができました。今回は、まず、その第一弾を報告します。KIFA会員は、総数459名、そのうち学生会員は85名です。アンケートは、85名中36名から回答がありました。ご協力どうもありがとうございました。皆さんからさまざまな意見が寄せられ、今後の活動にこれらを少しずつでも反映していきたいと思います。学生の皆さん、イベントのお手伝いして下さいね!!

図1は、学生 (図1)

会員の男女の割合と学生の区分

男 22%	女 78%
-------	-------

です。圧倒的に

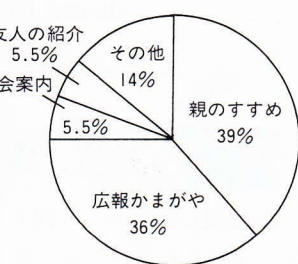
中学生 8%	高校生 53%	短大生 8%	大学生 28%
--------	---------	--------	---------

女の子が多く、

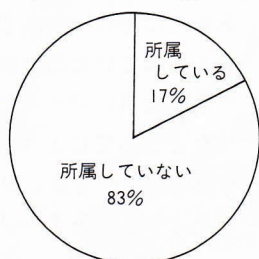
専門学校生 3%

女の子がちょっと元気ありません。もっと男の子の会員が欲しいですね。図2は、入会動機を表しています。グラフからわかるように、「親のすすめ」「広報かまがやを見て」というきっかけが多く、広報の影響もかなりのものですね。図3は、部会の所属状況です。部会に所属している人が、たった17%という結果は残念です。「部会に入ったら大変だろう」 (図2) 入会の動機

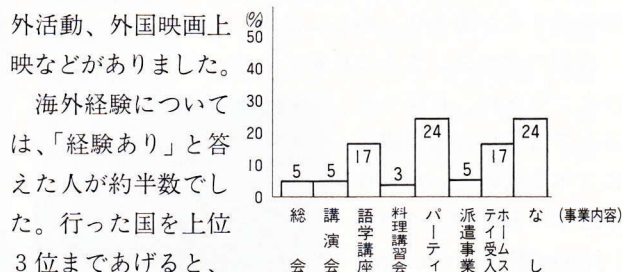
「部会活動って何だろう」と思っている人が多いのかもしれない。部会の活動は、自主的なものなので、時間がある時に参加してみたいかがですか? 皆さんが参加することで、KIFAに何か新しいものが生まれるかもしれません。図4は、今までにKIFAが行ってきた事業に参加した状況を表わしたものです。パーティーや語学研修は、皆さん興味があるようでした。今後もこれらの活動を続けながら、新しいイベントも



(図3) 部会の所属状況



やっていけたらいいですね。このアンケートの中で、今後やってみたいイベントについての皆さんの意見をいくつかあげてみると、スポーツ交流、学生同士や外国人とのパーティー、野 (図4) KIFA事業の参加状況



1位アメリカ、2位オーストラリア、3位ハワイ、グアム、カナダという結果でした。海外に行った感想をたくさん書いてくれましたが、ここで少しまとめてみますね。

良かったこととしては、視野が広がったこと、日本を改めて意識することができたこと、いろんな人と出会えたこと、異文化に直接触れられたこと、言葉が通じなくても心が通じ合えたことなどでした。

悪かったこと、困ったこととして最も多かったのは、語学力不足で、言葉の面で大変だったことでした。その他に、治安が悪いこと、日本人観光客のマナーが悪いこと、食事が合わなかったことなどがありました。これから行ってみたい国は、アメリカ、次いでイギリス、オーストラリアの順でした。やはり日本と一番つながりが深く、学習中の英語が使えるアメリカには一度は行ってみたいようです。行きたい理由は、学年が上がる程、漠然としたものから具体的なものへと変わっていました。男女別で見ますと、男の子は現実的で、女の子は夢を抱いている傾向がみられました。例えば、中学生の女の子なら、「スイスはハイジの国だから」という理由をあげてくれました。が、大学生では、「〇×語を学び始め興味がある」「政治的、経済的に興味がある」という理由でした。

さて、学生の皆さんが考えていることが、ちょっと見えてきた所で第一弾を終わらせていただきたいと思います。ですが、いかがでしたか? 続きは、次号に掲載されますので、楽しみにお待ち下さい。

市内の金融機関もKIFAの事業に協力しています



船橋信用金庫

鎌ヶ谷支店

鎌ヶ谷市富岡 1-4-41
☎0474(44)2411



千葉興業銀行

鎌ヶ谷支店

鎌ヶ谷市東初富 6-9-24
☎0474(43)6911



住友銀行

船橋北口支店 鎌ヶ谷出張所

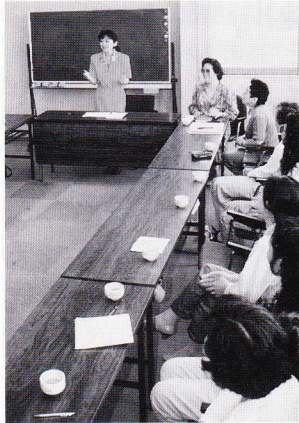
鎌ヶ谷市東初富 4-36-3
☎0474(45)8311

英語会話をブラッシュアップ ——通訳ボランティア研修会

研修部会では5月27日、千葉県文化国際課からノリーン・ヤマヨシさんを迎えて通訳ボランティアの研修会を行った。

会場の中央公民館には通訳ボランティア12名、研修部会員9名が集まり、熱心に受講した。

講師のヤマヨシさんは日系アメリカ人。ロスアンゼルスで生まれ、日本へ来るまでは同地の三菱銀行に3年間勤めていた。日本政府のJETプログラム(Japan Exchange and Teaching Program)を知り、どうしても日本で働きたくて応募したという。今は千葉県庁で主として「クロスロード千葉」の製作に従事している。



彼女のリズミカルな発音と、さわやかな人柄に受講者の学習意欲も高まり、後半は茶話会形式で自由な討論を行い、英語会話の技を磨いた。

海外派遣者報告会のお誘い

1990年度の海外派遣者がアメリカでの18日間の実りある研修を終えて、無事元気よく帰国しました。

ホームステイ、語学研修、施設訪問、大自然での交流等で経験した様々な感動、発見、エピソード等を派遣者の直接の声で、会員の皆様に報告する会を開催いたします。ふるってご参加下さい……。

開催日時 9月30日 午後1時30分から3時30分
会 場 南部公民館集会所

※参加希望者は会場準備の都合上、9月28日までに事務局へお申し込みください。

事務局 TEL. 45-1141 内線550

姉妹都市の調査始まる

Sister City //

7月21日、鎌ヶ谷市国際交流協会姉妹都市調査プロジェクトチームが発足、第一回目の会議を開きました。姉妹都市提携の実現をめざして、行政との協力のもと、今後一年間調査研究を行なっていくものです。

多数の応募者のなかから次のかたがメンバーとして選ばれました。

秋山 秀一	田沢進二郎	岡本 靖子
古井 雅彦	田原真理子	若狭 桜
藤本 克代	渡辺 清史	富田 照子
藤本 理栄	渋谷 定重	阿部 大力
田中 真人	高野 博之	吉村 祇彦

(敬称略)

プラザの泉

What a difference it makes 仕事を愛して働けば、
when you work for love of それだけよくできる。
the thing.

(BADEN POWELL)

編 集 後 記

☆充実した笑顔で米国より帰国した派遣団。レイクポートのさわやかな風を鎌ヶ谷に運んでくれました。

さあ、みんなで一緒に深呼吸……をしたところで本号「座談会・今、鎌ヶ谷の国際交流は」を叩き台に、あなたにとってのKIFAを、これからのKIFAを考えてみていただければ幸いです。……(N)

☆学生会員に対するアンケートの結果はまずまずと言ったところでしょうか。返送されてきた紙面から、みなぎるパワーをひしひしと感じとれる人もいたりして、うーんがんばるぞー！……(G)

市内の金融機関もKIFAの事業に協力しています



三 菱 銀 行
船橋支店 鎌ヶ谷特別出張所

鎌ヶ谷市富岡 1-1-2
☎0474 (45) 2451



第一勧業銀行
鎌ヶ谷支店

鎌ヶ谷市道野辺 952
☎0474 (42) 1121

部会加入のお誘い

広報・派遣・交流・研修の各部会では、国際交流事業に関心や熱意のある会員の皆さんの加入をお待ちしています。部会への加入手続きなどについては、事務局へお問い合わせください。

KIFA事務局